

# 国語科学習指導案

授業日 令和7年11月28日(金)

学習者 2年3組 32名

授業者 辻 由紀子

## 1 単元名 思いうかべたことをもとに、お話をしようかいしよう

教材名 「みきのたからもの」

## 2 単元の目標

◎場面の様子に注目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思C(1)エ)

○文の中における主語と述語との関係に気付くことができる。(知(1)カ)

○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知(3)エ)

○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体をとらえることができる。(思C(1)イ)

## 3 単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文の中における主語と述語との関係に気付いている。((1)カ) ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)	・登場人物の様子を具体的に想像することに積極的に取り組み、学習の見通しをもってお話を紹介する文章を書こうとしている。

## 4 単元計画と学習評価(全11時間)

時	学習内容	学習評価(知・思・主)〈方法〉	個	全
1 2	・物語の内容を想像した上で、教師の範読を聞く。 ・「といをもとう」を参考に、感じたこととその理由、この単元で考えてみたいことを交流し、学習の見通しをもつ。(授業構想シートを使用) ・登場人物の行動や出来事を、言葉や挿絵を手がかりにして捉え、あらすじをまとめる。 ・自分が想像したナニヌネノンを作る。※図工との関連	・教材文を読んで感じたことを伝え合い、見通しをもって学習を進めようとしている。(主)〈観察・記述〉 ・「読むこと」において、場面に様子や登場人物の行動など、内容の大体をとらえている。(思)〈記述〉 ・文の中における主語と述語の関係に気づくことができる。(知)〈発言・記述〉	○	○
3 4 5 6	・1から4の場面のみきとナニヌネノンの言動を確かめ、その理由や言い方、様子を考える。 ・登場人物の様子を想像する。	・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(思)〈発言・記述〉	○	○
7 本時	・5の場面のみきとナニヌネノンの言動を確かめ、その理由や言い方、様子を考える。 ・登場人物の様子を想像する。			
8	・6の場面のみきとナニヌネノンの言動を確かめ、その理由や言い方、様子を考える。 ・登場人物の様子を想像する。			
9	・家の人にこの話を紹介する文を書く。自分が好きなどところとその理由が伝わるように書く。	・お話を紹介する文章を書こうとしている。(思)〈ノート〉	○	
10 11	・書いた文章を友達と読み合い、「いいな。」と思うところを伝え合う。 ・「この本、よもう」に取り組む。 ・授業構想シートで学習を振り返る。	・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(知)〈観察・記述〉 ・学習を振り返り、身につけた力を今後の学びに生かそうとしている。(主)〈観察・記述〉	○	○

## 5 本時でめざす子どもの姿

場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。【思】〈ノート・発言・交流〉

## 6 仮説との関連

### ① 「学びのデザイン」をし、自己評価をすることで、主体的に学習しようとするための工夫（仮説1）

- ・ループリックを、観点ごとに学習活動に合わせて用意することにより、毎時間の到達目標を明確にし、自信につながるような振り返りを行えるようにする。
- ・読んだお話を、まだその本を読んでいない家の人などに紹介するという活動が授業のゴールになる。そのためには、あらすじを捉えたり登場人物の気持ちを想像したりすることが必要となる。あらすじを掲示したり、「心のきよりメーター」を用いたりして、目指すゴールを明確にし、達成したいという思いをもって主体的に学習に取り組めるようにする。

### ② 他者との関わり合いをもつことで、より「深い学び」を探求しようとするための手立て（仮説2）

- ・みきの感情を考える活動で、友達がどのように物語の様子を思い浮かべたのかをすぐに知ることができるようにし、自分の想像を広げることにつなげたい。なぜそれを選んだのかを個人で考えたり、全体で考えたりすることで、一人ではたどり着けない想像の広がりにつけ、より深く感想をもてるようにする。
- ・タブレット端末を活用して共通の選択肢の中からみきの気持ちを選択する活動を取り入れ、自分の考えをもつことに時間を要する子や決められない子も立場を明確にすることで共に学び合う実感をもてるようにする。

## 7 本時の学習展開（7/11）

	児童の学習活動	評価□ 留意点※
導入 7分	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <p>○本時の学習での活動と、ゴールを「授業構想シート」で確認する。</p> <p>㊦ 5のばめんのみきのひょうじょうを考えよう。</p> <p>○第5場面を音読する。</p>	<p>※これまでのみきとナニヌネノンのやり取りと気持ちの変化などについてとらえる。</p> <p>※既習事項の掲示物を活用し、ナニヌネノンを見送るみきの表情を考えながら音読できるようにする。</p>
展開 33分	<p>○個人思考</p> <p>・第5場面のみきの表情を考えて、その根拠となる教科書の文に線を引き、表情を選ぶ。</p> <p>○全体交流</p> <p>・なぜその表情を選んだか、根拠となる文を発表する。</p> <p>○個人思考</p> <p>・全体交流を経て、みきの気持ちをより具体的に想像し、挿絵の吹き出しに自分が想像したみきの言葉や気持ちを書く。（ワークシート）</p> <p>○自由交流</p> <p>・書いたことを読み合い、自分と比べながらノートにサインをする。</p> <p>○全体交流</p> <p>・吹き出しに書いたことを発表する。</p> <p>○みきとナニヌネノンの心のメーターを動かす。</p>	<p>※オクリンクで、みきの表情を選ぶ。挿絵にはない表情を、みきの行動から具体的に想像し選ぶことで、みきの気持ちをとらえ読みを深める。</p> <p>※終わった児童はペア交流をし、全体交流で自信をもって発言できるようにする。</p> <p>※困っている児童には、先に表情を選んでもよいことを伝える。また何がわからないのかを明確にし、自分の考えをもてるようにする。</p> <p>□場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像することができる。【思】〈ノート・発言・交流〉</p> <p>※2人の「心の距離」はどのように変化したのかを考える。</p>
終末 5分	<p>○ループリックで学習を振り返る。</p> <p>○次時への見通しをもつ。</p>	

## 学びスタート! とらえよう

1・2時間目

3～8時間目

## みんなで考えたい とい ふかめよう

◎どんなお話なのかな?

「たからもの」ってなんだろう?

おもしろかったこと、心にのこったこと、気づいたことなどを書いてはっぴょうしてみよう

◎お話の「あらすじ」をまとめよう

あらすじ・・・お話の内ようを短くまとめたもの

◎みきのひょうじょう(気持ち)はどのようにかわっていったの?

◎二人の心のきよりは、どうなったのかな?

○みきがはじめて見たものは?

○みきのしょうらいのゆめとは?

9～11時間目

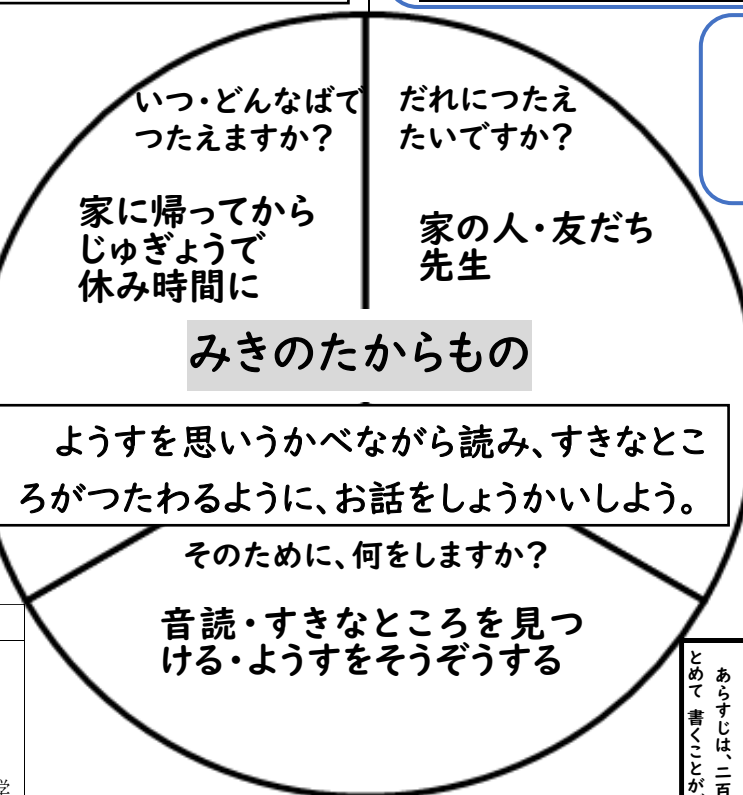
## まとめよう・ひろげよう

お話のすきなところとその理ゆうも入れて、お話をしようかいする文しょうを書こう

## 学しゅうけいかく

お話のすきなところとその理ゆうも入れて、家の人に、お話をしようかいする文しょうを書こう。

11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
学しゅうけいかく										
※自分がすきなところと理ゆうを入れて書こう。										
○書いた文しょうを友だちと読み合い、いいなと思うところを伝え合おう。										
○家の人に、このお話をしようかいする文しょうを書こう。										
○6のばめんの、みきとナニヌネノンのことばやこうどうをたしかめて、みきの気持ち(ひょうじょう)を考えよう。										
○みきとナニヌネノンの「心のきより」を考えよう。										
○5のばめんの、みきとナニヌネノンのことばやこうどうをたしかめて、みきの気持ち(ひょうじょう)を考えよう。										
○みきとナニヌネノンの「心のきより」を考えよう。										
○1から4のばめんの、みきとナニヌネノンのことばやこうどうをたしかめて、みきの気持ち(ひょうじょう)を考えよう。										
○みきとナニヌネノンの「心のきより」を考えよう。										



## ひょうか

あらすじをとらえること		読んでようすをそうぞうすること		考えたことを はっぴょうすることができた。	
だれが、何をしたかわかった。	クリアしちう	みきのひょうじょうと そのりゆうを 考えることができた。	クリアしちう	みきの気持ちをくわしくそうぞうしてふきだしに書くことができた。	クリアしちう
どんなできごとがおこったかわかった。	クリアしちう	考えたことを はっぴょうすることができた。	クリアしちう	考えたことを はっぴょうすることができた。	クリアしちう

